

平成 29 年度 草の根・人間の安全保障無償資金協力  
「アルメニア聴覚障害検査機器整備計画」 供与式の実施

平成 30 年 7 月 20 日(金)、草の根・人間の安全保障無償資金協力の枠組みによる「アルメニア聴覚障害検査機器整備計画」の贈与契約の供与式典が、エレバン市において開催されました。本式典には、山田在アルメニア大使の他、被供与団体である NGO「ハバット」のマヌキャン代表、バブロヤン国民議会議長、トロシャン保健大臣、その他供与先の医療機関代表者等が出席しました。

本計画は、アルメニア全土 21 ヶ所の産院に新生児の聴覚障害検査機器を整備し、聴覚障害児の障害を軽減させ、聴覚障害者の一層の社会参加の促進を目的とするものです。これまで日本政府やドナーの支援を通じて、既に聴覚障害検査機器が整備されていた 25 ヶ所の産院に合わせて、残る産院をカバーする本計画によって、国内全ての産院において新生児の聴覚障害検査を実施することが可能となりました。平成 30 年 3 月 14 日(水)に当館と被供与団体間で贈与契約が締結され、日本政府より 90,667 米ドルが供与されました(署名式のプレスリリースは[こちら](#)をご参照下さい)。

案件名： アルメニア聴覚障害検査機器整備計画 (於エレバン市)  
被供与団体： NGO「ハバット」(NGO“Havat”)  
贈与金額： 90,667 米ドル (9,973,370 円)  
贈与契約締結日： 2018 年 3 月 14 日(水)



マヌキャン代表による開会の挨拶



聴覚障害児による演技



手拍子を送って盛り上がる会場



聴覚障害検査に関する紹介映像



トロシャン大臣の挨拶



山田大使による祝辞



バブロヤン議長の挨拶



ダラキャン・アストヴァツァマイル病院  
院長の挨拶 (機器供与先の一つ)



平成 21 年度に整備した音響遮断室と  
聴覚障害検査機器の視察